

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 7月

令和4年7月1日の推計人口 1,285,408人
世帯数 558,493世帯

参考：R2.10.1現在国勢調査総人口：1,312,317人、
世帯数：558,230世帯

1 推計人口

令和4年7月1日現在の推計人口は、1,285,408人で、前月(1,286,193)に比べ785人の減少となった。

市部では、大村市(72)の1市で増加し、長崎市(△330)、佐世保市(△142)、諫早市(△93)、南島原市(△54)、平戸市(△45)、対馬市(△41)、雲仙市(△35)、壱岐市(△28)、西海市(△27)、五島市(△25)、松浦市(△16)、島原市(△13)の12市で減少した。

郡部では、佐々町(14)、波佐見町(9)、時津町(8)、川棚町(6)の4町で増加し、長与町(△22)、新上五島町(△14)、東彼杵町(△8)、小値賀町(△1)の4町で減少した。

自然動態は、出生数630人、死亡数1,425人で795人の減少、社会動態は、転入者数2,917人(県内転入を含む)、転出者2,907人(県内転出を含む)で、10人の増加となった。

2 世帯数

令和4年7月1日現在の世帯数は、558,493世帯で前月(558,414)に比べ79世帯の増加となった。

(注)

・異動人口推計=R2国勢調査確定数+住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】 …… 5月

1人当たり現金給与総額 249,665円
対前月比 5.4%減少
対前年同月比 6.1%減少

1 賃金

5月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は246,665円で、前月に比べ5.4%減少し、前年同月に比べ6.1%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は245,967円で、前月に比べ2.0%減少し、前年同月に比べ2.9%減少した。

特別給与額は3,698円で、前年同月に比べ、8,927円減少した。

2 労働時間

5月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は142.5時間で、前月に比べ6.8%減少し、前年同月に比べ0.2%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は130.9時間で前月に比べ6.9%減少し、前年同月と比べ、0.6%減少した。

所定外労働時間数は11.6時間で、前月に比べ5.0%減少し、前年同月に比べ9.6%増加した。

3 雇用

5月の常用労働者数は212,154人で、前月に比べ、0.2%増加し、前年同月に比べ2.8%増加した。

【鉱工業生産指数】……………5月

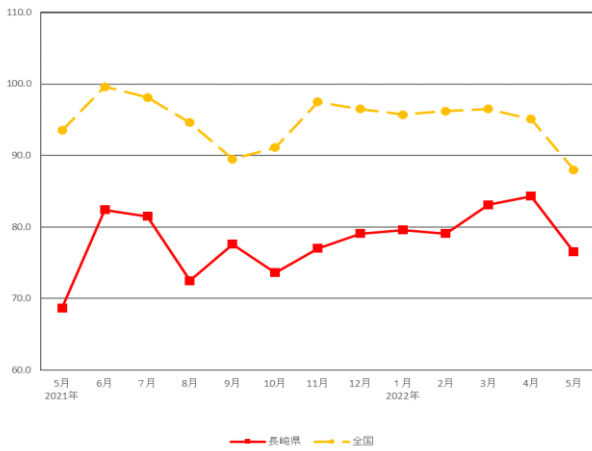
令和4年5月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整指数	前月比 (%)	原指数	前年同月比 (%)
長崎県	76.5	△9.3	72.0	7.5
九州	…	…	…	…
全国	88.0	△7.5	83.8	△3.1

注)九州経済産業局にて鉱工業指数の公表内容の一部に誤りが確認され、現在、九州経済産業局にて訂正作業中。2022年5月分の公表が行われていないため、九州の値は掲載していない。

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



2022年5月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が76.5で対前月比は9.3%の減、原指数は72.0で対前年同月比は7.5%の増となった。

業種別にみると、はん用・生産用機械工業、食料品工業など2業種が上昇し、電気機械工業、電子部品・デバイス工業など5業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	45.4	ボイラー
食料品工業	20.7	その他の調味料

○主な低下業種

業種	前月比 (%)	低下に寄与した主な品目
電気機械工業	△40.0	交流発電機
電子部品・デバイス工業	△22.7	水晶振動子・フィルタ・複合部品
繊維工業	△12.8	合成繊維糸

(注)前月比は季節調整済指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………6月

総合指数(R2=100)	101.8
対前月比 (%)	±0.0
対前年同月比 (%)	+2.3

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、101.8である。

前月比±0.0%で、主な上昇要因は「食料」の+0.2%、「住居」の+0.1%であり、主な下落要因は「被服及び履物」の△1.4%、「教養娯楽」の△1.3%である。

前年同月比は、2月は+0.5%、3月は+1.0%、4月は+2.3%、5月は+2.4%と推移した後、6月は+2.3%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は101.5で前月比+0.1%の上昇であり、前年同月比は+2.2%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

家具・家事用品	1.1 %
光熱・水道	0.4 %
諸雑費	0.4 %
食料	0.2 %
住居	0.1 %

▽同水準の費目

保健医療	±0.0 %
交通・通信	±0.0 %
教育	±0.0 %

▽下落した費目

被服及び履物	△1.4 %
教養娯楽	△1.3 %

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……………6月

消費支出(一世帯当たり)	323,481円
前月比	21,647円増(7.2%増)

令和4年6月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は323,481円で、前月比7.2%の増、前年同月比は23.7%の増であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は48.8%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。